



PHOTO BY TED THOUSAND

「特別講演」海外旅行者からみたタンチョウの魅力

ジョージ・W・アーチボルド「国際ツル財団」

DR. GEORGE WILLIAM ARCHIBALD

タンチョウの
生息地分散と
地域振興について
考える
シンポジウム

2019

1

月

22

日

火曜日

苦小牧市市民会館小ホール
13時～16時15分

タンチョウの
生息地分散と
地域振興について
考える
シンポジウム

かつて絶滅の危機にあったタンチョウは、道東での保護活動により現在では約1,800羽が確認されるに至りました。そうした中、タンチョウの過密化を受けて、環境省では給餌量の調整等による分散に取り組んできました。しかし、タンチョウが広く道内に生息するためには、多くの人々に受け入れられていくことも重要です。そこで、世界中でツル類の保護に尽力され、タンチョウ保護研究グループの理事でもあるアーチボルド博士をお迎えし、海外から見たタンチョウをはじめとした日本の自然の魅力や、地域にもたらす効果について講演いただきます。また、生息地分散によりタンチョウの飛来が増えつつある道央の地域の現状も交え、これからのタンチョウとの共生と地域振興について考えるシンポジウムを開催します。

13:00 開会

環境省北海道地方環境事務所 所長 三村 起一
苫小牧市長 岩倉 博文

13:10 環境省からの報告

タンチョウ保護増殖事業の取組

環境省釧路自然環境事務所 統括自然保護企画官 徳田 裕之

道央地域での生息地分散について

環境省北海道地方環境事務所 野生生物課 課長 田口 和哉

13:50 特別講演 逐次通訳あり

海外旅行客からみたタンチョウの魅力

International Crane Foundation [国際ツル財団]
Dr. George.W.Archibald

15:05 地域の事例紹介

タンチョウも住めるまちづくりについて

長沼町 政策推進課 企画官 下川 昇大

むかわタンチョウ見守り隊の取組

ネイチャー研究会inむかわ 会長 小山内 恵子

人間環境都市・苫小牧の目指す自然との共生

苫小牧市 環境衛生部 部長 椿 勇喜

15:35 総括 逐次通訳あり

International Crane Foundation [国際ツル財団]
Dr. George.W.Archibald

16:00 閉会

2019年1月22日(火) 13:00 ~ 16:15

苫小牧市市民会館小ホール

苫小牧市旭町3丁目2-2 Tel. 0144-33-7191

JR苫小牧駅から徒歩15分



対象 | 一般、企業、行政等(定員100名)

参加費 | 無料(事前申込制・先着順)

主催 | 環境省北海道地方環境事務所

共催 | 苫小牧市

講演者 |

ジョージ・W・アーチボルド
George William Archibald
国際ツル財団 共同創設者



1946年カナダ出身。1973年に国際ツル財団(ウイスコンシン州)を設立。27年間会長を務め、ツルの生息に必要な流域および草地の保護、渡りルートの拡大等に広く尽力。本シンポジウム直前まで活動の支援者と共に、北海道を最終目的地とし、アジア各地のツルの生息地を視察していました。



国際ツル財団

INTERNATIONAL CRANE
FOUNDATION

世界に15種類いるツルとその生態系を保護するため、世界各国の専門家たちと協力し、各地の保護活動をする人々へ知識や活動方法を普及する団体。

お申込み | ①氏名②所属③連絡先電話番号④メールアドレスかFAX番号を記載のうえ、メールまたはFAXで下記へお申込みください。

お問合せ | (公財)日本生態系協会 [環境省北海道地方環境事務所業務請負者]

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20音羽ビル Tel. 03-5951-0244 Fax.03-5951-2974 E-mail tancho@ecosys.or.jp

お知らせいただいた個人情報は、本シンポジウムの連絡以外には使用いたしません